

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第2区分

【発行日】平成29年1月26日(2017.1.26)

【公開番号】特開2015-131334(P2015-131334A)

【公開日】平成27年7月23日(2015.7.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-046

【出願番号】特願2014-5080(P2014-5080)

【国際特許分類】

B 21 J 5/06 (2006.01)

【F I】

B 21 J 5/06 C

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月8日(2016.12.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

柱部材43が所望の高さになつたら、待機位置にあるロックナット93を回転させつつ上昇させ、柱部材43を強制的に押し上げる。これで、雄ねじ91に雌ねじ94が、より強く噛み合い、弛み止め作用が得られる。

なお、ロックナット93を回転させるときに、柱部材43が僅かであるが、共回りすることがある。スパナー掛け95、95にスパナーを掛けた状態で、ロックナット93を回すと、共回りが防止できる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0048】

さらには、ダイホルダ14とパンチホルダ16の一方にストライク部材40を設け、他方にバイパス弁70を設ける他、ストライク部材40又はバイパス弁70はダイホルダ14の代わりに床に設けることもできる。よって、ストライク部材40はダイホルダ14とパンチホルダ16の一方に対して相対移動不能に設けられればよく、取付け部位は任意であり、バイパス弁70は他方に対して相対移動不能に設けられればよく、取付け部位は任意である。